

会長の時間 第6回 共感する脳の二律背反

日出ロータリークラブ

会長 加賀山 茂

はじめに

これまでの会長の時間では、ロータリークラブの基本的な理念について、第1回目に「四つのテスト」の意味、第2回目に「ロータリーの目的」の意味、第3回に「五大奉仕部門」、第4回に、「公平とは何か」について、タクシーの相乗りの場合の料金の公平な負担について検討させていただきました。そして、いずれの回においても、本年度の RI 会長（Holger Knaack 氏）のテーマである「ロータリーは機会の扉を開く」を活用させていただき、3つの扉の色に即して、**赤い扉**は、「親睦（和らぎ睦び）」として、**黄色の扉**は、「職業倫理の向上」として、**青の扉**は、「次世代への奉仕活動の実践」として整理させていただきました。



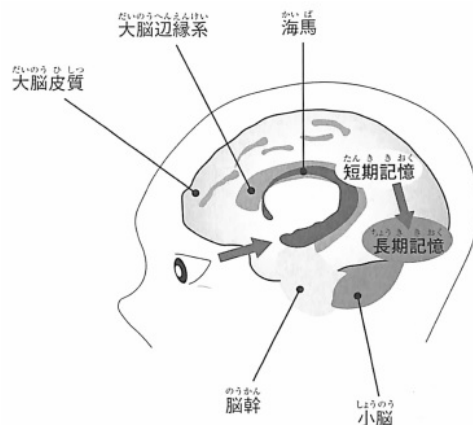
今日は、ゲストに杵築日出警察署の安倍雅宏署長と三代正和様をお迎えしております。私たちが安全な生活を送れているのは、警察の方々のお陰です。そこで、今日は、ロータリークラブの基本理念そのものではありませんが、最近の脳研究から明らかになってきた、私たちの脳の働きが、一方で、親睦、安全、そして平和をもたらすとともに、喧嘩、危険な争い、戦争をも引き起こしていることについて、話してみたいと思います。

1. ミラーニューロン（共感神経細胞）の二つの働き

(1) 「相手の心に共感する」機能

ミラーニューロンは、霊長類等の高等動物の脳（大脳皮質の前頭葉の下前頭回）に備わったとても重要な機能を持つ神経細胞です。この神経細胞の働きによって、ヒトはまるで鏡を見ているかのように、他の個体の行動をみて、自分自身も同じ行動を取っているかのように反応することができます。このため、この神経細胞は、「物まね細胞」とか、「共感する細胞」と呼ばれています。

このミラーニューロンという神経細胞の作用によって、一方で、人は、「不幸な人を見てもらい泣きをする」とか、「微笑みを微笑みで返す」とか、「プレゼントのお返しをする」など、人間関係を良い方向にもっていくことができます（田淵俊彦=NNN ドキュメント取材班『発達障害と少年犯罪』新潮新書（2018/5/16））。



(2) 「やられたらやり返す」機能

しかし、このミラーニューロンの作用によって、他方で、人は、「やられたら、やり返す」、「陰口を言われたら、陰口で返す」という人間関係を悪くする方向にもっていく方向に突き進むこともできます。むしろ、人は、「贈物をされたら贈り返す」よりも、「やられたら、やり返す」という方向に向かう誘惑に抗えないのです。「やられたらやり返す」という衝動に駆られて理性を失った人は、「自分より強い敵からは**逃走**する」か、それとも「自分と同等か弱い敵に対しては**闘争**する」か、という本能に従った行動に出てしまうのです（ドナ・ヒックス『Dignity ディグニティ』幻冬舎（2020/3/2）40頁）。

2. 二律背反する問題の解決とそれに伴う困難さ

(1) 共感する心を伸ばし、「やられたらやり返す」心を自制する

このため、私たちは、無意識のうちに行動すると、つまり、本能のままに行動すると、共感にあふれた美しい世界を創造することができるとともに、攻撃とその復讐に明け暮れる悲惨な世界へと陥る危険性をも併せ持っていることとなります。

そうだとすると、私たちが、平和な世界を構築しようとするれば、鏡のように「相手に共感する」という美しい心を伸ばすとともに、「やられたらやり返す」という危険な心を自制する必要があります。

(2) きれいごとでは済まない世間を平和に導く難しさ

しかし、実は、このことは簡単ではありません。むしろ、マスコミをにぎわすニュースを見ていると、「やられたらやり返す」、さらには、「やられる前にやっつける」という衝動に駆られて生きている人の方が多いように思われます。

衝撃的なニュースから離れて、穏健な立場から考えてみても、私たちは、「強い敵からは**逃走**するが、同等か弱い敵とは**闘争**する」という本能的な行動に出ることが多いように思われます。

警察の任務が困難に満ちているのは、私たちの心が、良い方向で「共感し、助け合う」という美しい心を持つと同時に、悪い方向で共感し、「やられたら、やり返す」、「やられる前に攻撃する」という困った心をも併せ持っているからでしょう。

このように「共感する」という美しい心とともに、「やられたらやり返す、やられる前に先手を取る」という困った心をも併せ持つ人間の心をどのようにして良い方向に導いてくのかというのは、私たちに課せられた永遠の課題であり、日出ロータリークラブとしても、この課題に少しずつ挑戦していきたいと考えています。

というわけで、今回は、警察という立場で、人間の困った行動に対して、どのような取り組みをなされているのかという点を含めて、警察が果たしている役割の大きさとともに、その難しさについて、お話をさせていただきたく存じます。